

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年3月31日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 3 4 7 0 2 0 4 2 4 3
法人名	株式会社 広の島
事業所名	グループホーム古の市
所在地	広島市安佐南区古市3-5-3 (電 話) 082-877-1413
評価機関名	特定非営利活動法人医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4 - 46 - 9
訪問調査日	平成21年3月19日

【情報提供票より】(20年 11月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年 8月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 7 人
職員数	9人 常勤 14人, 非常勤 4人, 常勤換算 5.8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 コンクリート 造り 10 階建ての 階 ~ 2 階部分
------	-----------------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円	
敷 金	有(円) <input type="radio"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) <input type="radio"/> 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	200 円
	夕食	200 円	おやつ	円
	または1日当たり 600 円			

(4) 利用者の概要(11月 1日現在)

利用者人数	7 名	男性	0 名	女性	7 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名		
要介護3	2 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.2 歳	最低	74 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	舟木病院、川添歯科医院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム古の市は、JR駅から近くバスの便もあり、利便性に優れている。1ユニットで7人定員ということもあり、和やかな一家団欒の風景を見ることが出来る。管理者が示す理念に「こころのバリアーフを目指します」の通りそれぞれの立場の人のことを理解し、思いやりの心を持って接しているのが入居者の笑顔からも伺える。職員一人ひとりも主体性のある良いホームです。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地域性があり、地域との交流が少し難しいように思われる。今後もホームを理解して頂けるような活動を期待します。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価に対しての取り組みは、少し厳しいように思われる。自ホームの出来ているところも認めながら、更なる向上も目指して下さい。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、2ヶ月に1回、開催されている。地域の方が参加され、交流することでホームを理解してもらい、ホームの役割、取り組みを周知させる機会でもある。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の方と面会等で直接、意見や相談等を受けている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入しており、地域の行事に参加している。食材も毎日のように買いに出掛け、地域貢献となっている。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	こころのバリアフリーを目指していて、入居者と職員の関係が自然体でもあり、ホームが一つの家族の様である。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入居者と職員の笑顔があり、和やかな雰囲気である。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	管理者が町内に住んでおり、町内会の役員をしたり、行事にも参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価を皆で検討し、改善に向けて取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、第1木曜日の14時～15時に開催している。入居者の家族も参加され、行事報告等の話し合いを行なっている。		より多くの方に参加してもらうように積極的に働きかけていく努力を望みます。

グループホーム古の市

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	現在のところ運営推進会議以外に行き来する機会はない。		市町村担当者に事業所の考え方や実情を伝え、共に協議することでより質の向上を目指される事を期待します。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回、請求書を送付する時に写真や便りを同封し、暮らしぶりや健康状態を報告している。		家族に送付する便り等に職員の異動等を知らせる事も大切である。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の方は直接、管理者や職員に話しをしている。		運営推進会議の中で家族の意見や苦情を報告する機会を持たれると良い。(外部)
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職は、最小限に抑える努力をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員が介護福祉等の資格取得を目指される様に支援している。目指すことで職員のスキルアップを期待する。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者と交流する機会を持っていない。		交流することでより質の向上を目指されることを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	入所する前に見学してもらったり自宅を訪問して、信頼関係を作りながら馴染んでもらっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	その人らしく好きなことや得意とすることをより発揮してもらえるように支援している。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりに関心を向け、希望している事、又意見の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	職員の話し合いの中で気づきや意見を介護計画の作成に反映するように努めている。		課題分析シートの具体的目標設定を個人の部屋に表示して取り組んでいる。
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	6ヶ月に1回見直しを行なうと共に、変化に応じてその都度見直しを行なっている。		

グループホーム古の市

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院介助や特別な外出支援(理美容院等)を行なっている。		医療連携体制を活かした支援を望みます。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	馴染みのかかりつけ医や希望する医療機関で医療が受けられる様に支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居者や家族の希望に沿えるよう、又方針を皆で話し合っている。		状況変化に応じた話し合いが必要となるのでその都度合意が必要。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りを尊重し、入居者の尊厳と権利を守るように心掛けている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人が望まれる過ごし方を出来る限り支援をしている。		

グループホーム古の市

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日近所に買い物に出掛け、出来る人が調理を手伝い、献立も皆で考えている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回程度、入浴しているが、希望があれば対応できる体制にある。		入浴拒否されることが多い方には、声掛けを工夫したり、タイミングに合わせて入浴を楽しんでいただける様に支援をしている。
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	料理や編み物が好きな方、外出が好きな方等、一人ひとりに合わせて支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、ドライブ、散歩等、希望を肌で感じてもらい、心身の活性につながる様に支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	オートロック式のマンションのワンフロアという形態になっているが、内から外へ出ることにはできる。夜間はホームの玄関は鍵をかけている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難経路、避難場所、消火器の使用方法などの確認をしている。		地域の協力体制を築いていかれることを望みます。

グループホーム古の市

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一人ひとりの食事量や水分量を把握し、少ない方には本人の摂取しやすいものに変える等して確保できるように支援している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>光、家具の色、料理の匂い、音楽等、五感を刺激する生活感に配慮があり、居心地よく過ごせる工夫をしている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>その人らしい馴染みの物が置いてあり、居心地よく過ごせる空間づくりを心がけている。</p>		